

Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

# 働く体験を 提供をしてくださる皆さまへ



一般社団法人SPSラボ  
若年認知症サポートセンターきずなや  
631-0055 奈良市大和田町1914-1  
mail: info@kizunaya-nara.org

ホームページ



一般社団法人SPSラボ  
若年認知症サポートセンターきずなや



## きずなやの沿革

- 2004年 地域で孤立する若年認知症の人と家族に出会う
- 2009年 若年認知症サポートセンターきずなやを設立。  
家族会と共に相談の場と居場所を作る
- 2011年 国・都道府県へ 相談事業と居場所の設置等要望
- 2014年 一般社団法人化。農福連携をスタートさせる。  
再雇用先の創出と地域共生・活性化
- 2017年 「奈良県若年性認知症サポートセンター事業」の受託  
早期支援体制 確定診断前後の本人支援
- 2018年 奈良県若年性認知症本人の会「絆」をスタート
- 2020年 「奈良県若年性認知症ピアサポート事業」構築  
若者の孤立・孤独問題に関するプロジェクト  
「DPM」スタート

### 代表理事

氏名 若野達也  
 資格 精神保健福祉士  
 略歴 日本福祉大学卒。医療機関・障害者施設・行政等の相談員  
 役職 認知症グループホーム「古都の家学園前」代表  
 若年認知症サポートセンターきずなや 代表理事  
 全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会 代表代行  
 公社日本認知症グループホーム協会奈良県支部 支部長  
 NPO法人認知症フレンドシップクラブ 理事



## 若年性認知症の人とともに考える 認知症にやさしいまちづくり

認知症は、一般的には高齢者に多い病気ですが、**65歳未満で発症**した場合「**若年性認知症**」とされます。本人や配偶者が現役世代なので、認知症になって職を失うと、経済的に困ることになります。また、親の病気が子どもに与える心理的影響も大きく、教育就職、結婚などの子どもの人生設計が変わる場合もあります。

- 当事者家族相談支援事業
- ピアサポート事業
- 居場所づくり
- 就労支援
- 若年性認知症の啓発活動



## 今の若者世代が感じている 生きづらさをともに解決する為の活動

困難な課題や生きづらさを身にまといながらも、砂漠に咲く一輪の花のように自分達の課題に力強く立ち向かう人々の、ほんの些細な物語。

**ダークサイドヤング**たちを  
**生きづらさから守る**取り組みです。

- 望まない孤独の人たちのシェルターづくり
- 何もしない居場所づくり
- 働きやすい仕事づくり
- 農福連携

